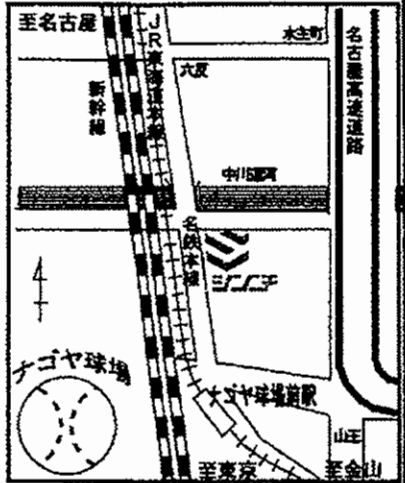


補償コンサルタント情報コミュニケーション誌

株式会社 新日 補償ミニコミ



発行日 発行所 (株) 新日 TEL 052-331-5356 編集者
3ヶ月毎1回 名古屋市中川区山王一丁目8番28号 FAX 052-331-4010 秋山 学

暑中御見舞

平成5年は冷夏で米の不作。日本中が米不足で大騒ぎ。平成6年は猛暑で水不足。日本中がポリタンクや飲料水の買い出しに奔走。平成7年は雨が多く各地で水害発生。平成8年は暑さと水不足。さて、今年といえはいつになく早々と台風襲来と水害の発生。世間では少年による凶悪犯罪の発生や、また金

非木造建築物統計数値の採用

平成3年度より非木造建築物統計数値について、鉄骨数量及び建物附帯設備は統計数値が採用されることとなり、さらに平成9年度からは鉄筋コンクリート造建築物にまで統計数値が採用されることになりました。従来補償業務にあつて



補償講座

我がが加盟している補償コンサルタント協会では、起業者の御指導のもと「補償積算システムソフト」の開発、優秀な人材確保のための「専門学校に補償講座の創設」等積極的な協会運営がなされております。

土地の取得にかかわる補償の実務について

前回では、土地取得に係る補償における土地評価のフローを概説しましたので、今回からフローに添って具体的に記載したいと思います。標準地比準評価法の算定に先立ち検討しなければならぬ作業として

①用地測量図(取得する土地の一筆一筆が特定でき、所有者、現況地目、取得面積、残地面積等が記載されているもの)
②都市計画図、航空測量図2千5百分の1、地番図(市町村の税務課が所有している図面、航空測量図に公図が添付して)

員として、そのお手伝いをさせていただきますことになっております。
①取得する土地の単位の決定、②用途的地域の区分、③同一状況地域の区分、④同一状況地域の区分
①取得する土地の単位の決定
別記土地評価事務処理要領(以下別記要領)の第1条(土地評価の単位)

新入社員紹介

平成9年4月より、補償調査部では新たに3人の仲間を迎えることになりました。また、起業者へ出向していた職員が2年の任期を終え、部内に戻ってくることもなるとともに、新たに1人が起業者へ出向することになりました。

- ★新入社員
★牧 一良
★古川 文子
★山下 大介
★河野 幹男